



AIN GROUP

電子処方箋について

株式会社 **アインファーマシーズ**

代表取締役社長
大石 美也

本日お伝えしたいこと

1. モデル事業における取り組み

- 概要とモデル事業の経過
- 薬局業務における主な変更点

2. 薬局業界における見通し

- 今後の計画
- 期待と要望

本日お伝えしたいこと

1. モデル事業における取り組み

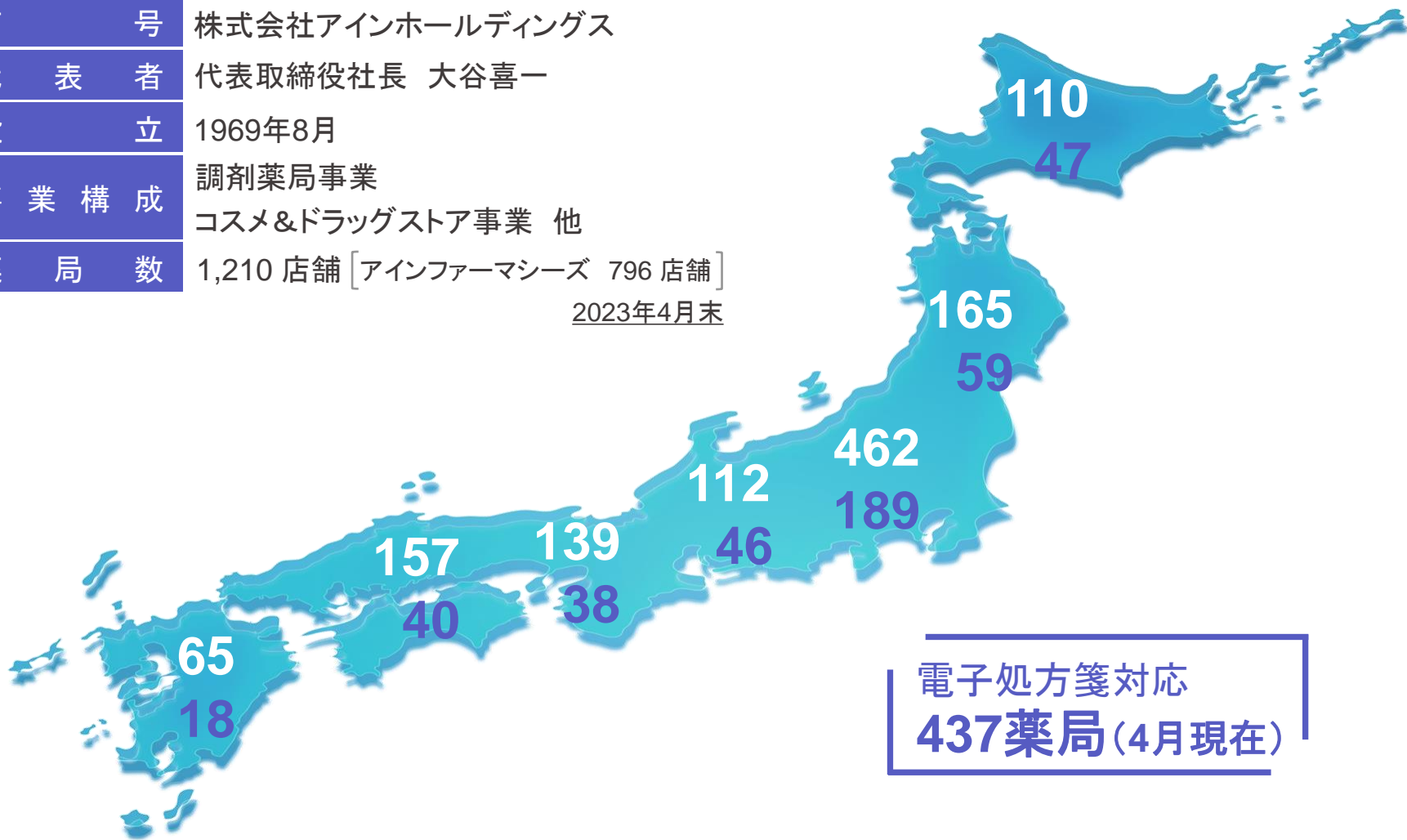
- 概要とモデル事業の経過
- 薬局業務における主な変更点

2. 薬局業界における見通し

- 今後の計画
- 期待と要望

グループ概要

商号	株式会社アインホールディングス
代表者	代表取締役社長 大谷喜一
設立	1969年8月
事業構成	調剤薬局事業 コスメ&ドラッグストア事業 他
薬局数	1,210 店舗 [アインファーマシーズ 796 店舗] 2023年4月末



電子処方箋対応
437薬局 (4月現在)

▶ □: 薬局数 ■: 電子処方箋対応

モデル事業参画 アイン薬局 酒田店概要

■ 店舗概要

店舗名	アイン薬局 酒田店
所在地	山形県酒田市大宮町1丁目5-2
医療機関名	日本海総合病院
処方箋発行枚数	100枚/日

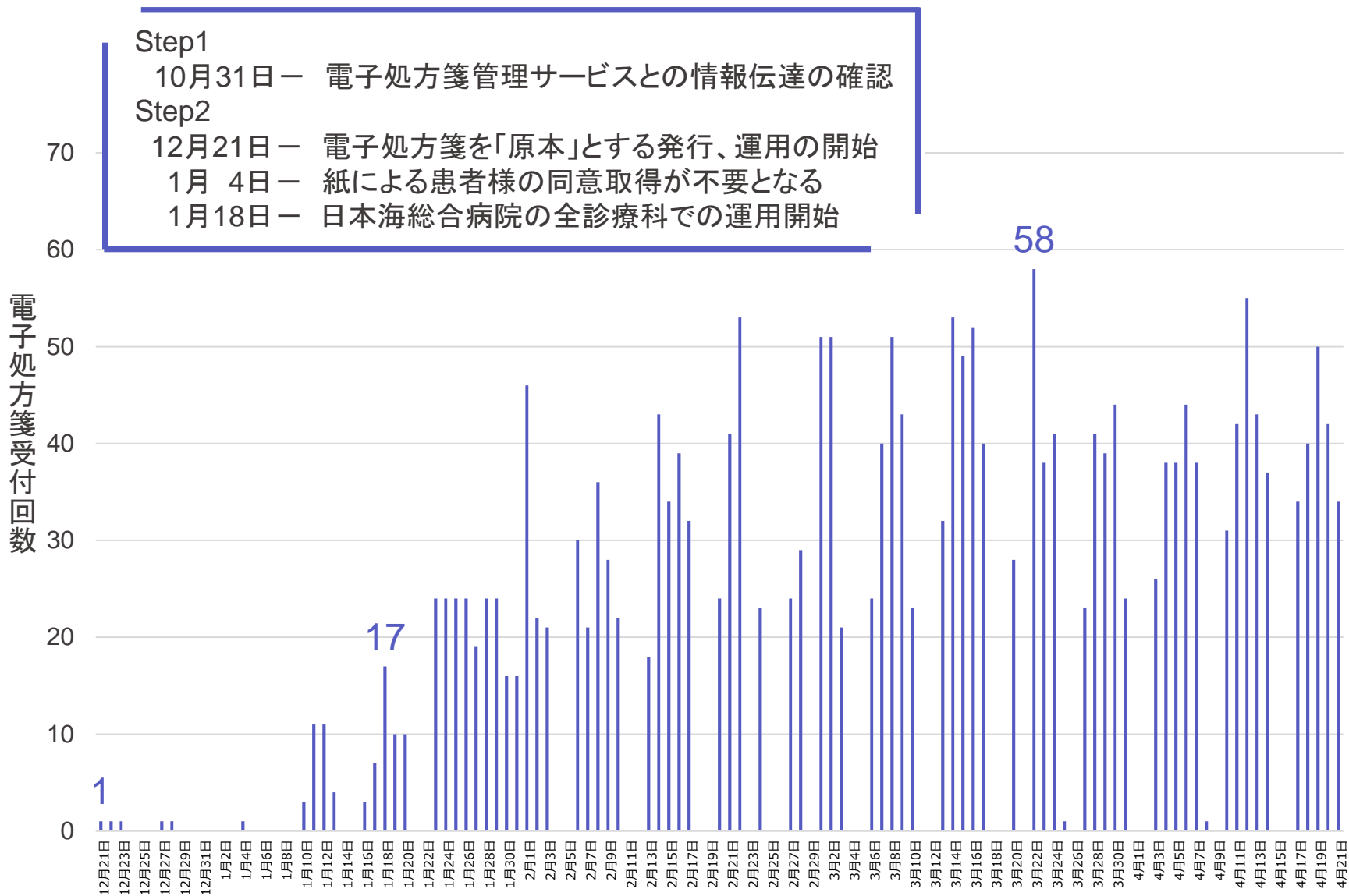
■ 外観



■ 周辺地図



モデル事業の経過と受付回数



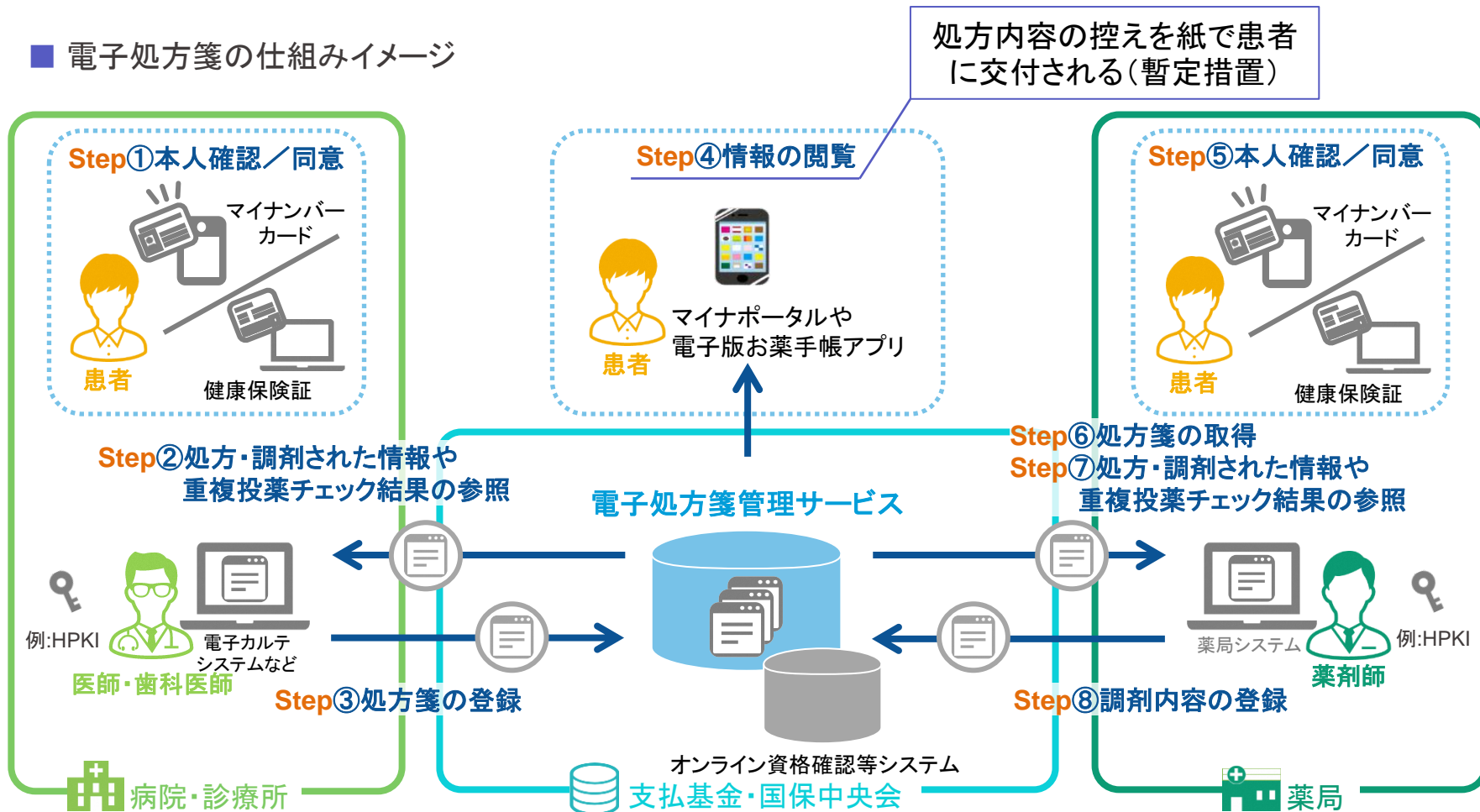
薬局業務における主な変更点

- システム・ネットワーク
- 受付業務
- 処方入力業務
- 調剤・監査業務
- 調剤結果登録

システム・NW — 電子処方箋の仕組み —

電子処方箋管理サービスを経由して医療機関、薬局間相互で共通情報を参照できる仕組み。

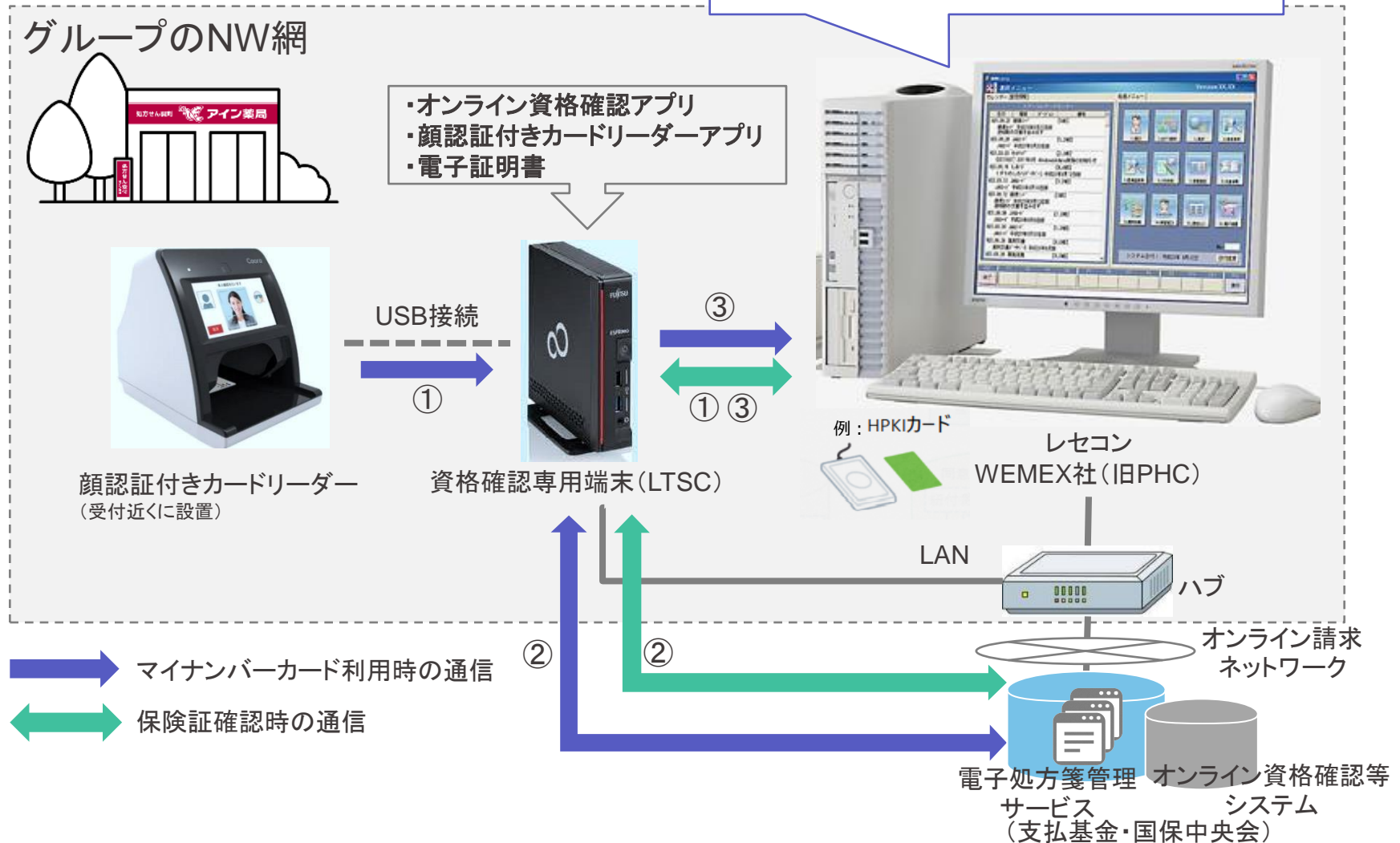
■ 電子処方箋の仕組みイメージ



▶ 20220725「そうだったのか、電子処方箋」厚生労働省医薬生活衛生局説明資料より抜粋

システム・NW構成概要

オンライン資格確認オプションソフト
電子処方箋管理ソフト
HPKIカードリーダーのドライバインストール



受付業務

■ アイン薬局 酒田店の受付



▶ 顔認証付きカードリーダー

2次元コード
リーダー

HPKIカードの
カードリーダー



▶ レセプトコンピューター

受付業務 — 受付方法 —

マイナ保険証、健康保険証のどちらの場合でも電子処方箋の受付は可能であるが、情報閲覧機能を十分に活用するにはマイナ保険証持参及び同意取得が必要。

		マイナ保険証 (患者同意あり)	健康保険証
情報閲覧	他院&他薬局名称	○	×
	他院処方 の薬剤名 他薬局調剤 の薬剤名	○	×
	重複投薬等チェック	○	○
薬剤師からの伝言の確認 医師から薬剤師への伝達		○	○

受付業務 一処方箋様式一

従来の紙処方箋、引換番号付き紙処方箋、処方内容の控え(電子処方箋)の3パターンの様式を扱うことになる。

■ 処方内容の控え(電子処方箋を選択された場合)

処方内容(控え) ページ: 1/1

引換番号: 1 2 3 4 5 6

マイナンバーカードをお持ちでない方は上記の引換番号を薬局にお伝えください

氏名	発行年月日	使用期限
基金 太郎 様	2023年 1月 31日	年 月 日

※記載無しは発行年月日を含めて4日間有効

(医療機関コード) 13-1-1234567
〒106-0004 東京都港区新橋2丁目1番地3号

医療法人〇〇会 基金病院

TEL 03-0000-0001 FAX 03-0000-0002
(処方医氏名) 医師 太郎

【処方内容】

変更不可				
RP001	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒 (医療用)	9 g		7日分
RP002	【穀】カルボシステイン錠500mg	3錠		7日分
RP003	【穀】アセトアミノフェン錠300mg	1錠		
	【穀】レバミピド錠100mg	1錠		10回分
RP004	ゲンタシン軟膏0.1%	1mg	10g	

保険者番号	06132013	生年月日	昭和50年 1月 1日
記号・番号	10・18982201 (枝番) 01	性別	男
公費負担者番号		公費受給者番号	

2次元コードには患者情報と引換番号が記録されている。

■ 引換番号付き紙処方箋(紙処方箋を選択された場合)

電子処方箋対応 処方箋
引換番号: 999999 (この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。)

公費負担者番号	保険者番号
公費負担者の氏名	保険者証・調剤受給者番号

氏名: 基金 太郎
生年月日: 2023年 1月 31日 男・女
区分: 被保険者 被扶養者

保険者証の所在地及び名称
電話番号
保険医氏名
調剤科番号

交付年月日: 令和 年 月 日
処方箋の発行期間: 令和 年 月 日

変更不可: 調剤の処方箋について、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更が加えられている場合は、「変更不可」欄に「レ」又は「リ」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

保険医署名: (「変更不可」欄に「レ」又は「リ」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。)

調剤年月日: 令和 年 月 日
公費負担者番号

公費負担者の氏名
公費負担者番号

※この処方箋は、処方箋の発行、受取、有効性及び情報伝達に使用すること。
※この処方箋は、処方箋の発行、受取、有効性及び情報伝達に使用すること。
※この処方箋は、処方箋の発行、受取、有効性及び情報伝達に使用すること。

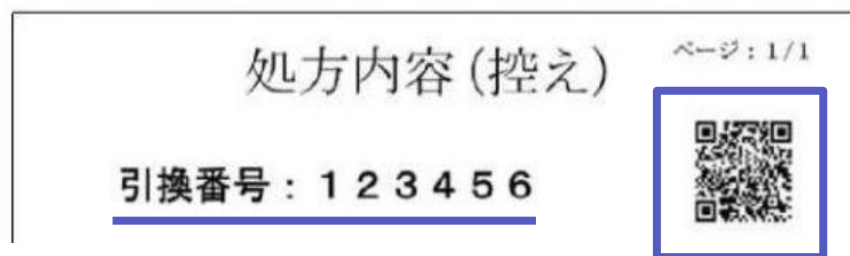
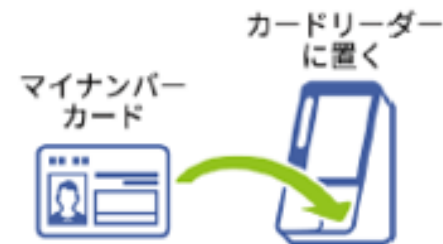
- 電子処方箋に対応していない薬局では受付ができない
- 処方内容は薬品名と用量のみ確認が可能
- 用法は記載されない

- 電子処方箋データも発行されている
- 電子処方箋に対応していない薬局でも紙処方箋による従来の流れで調剤が可能

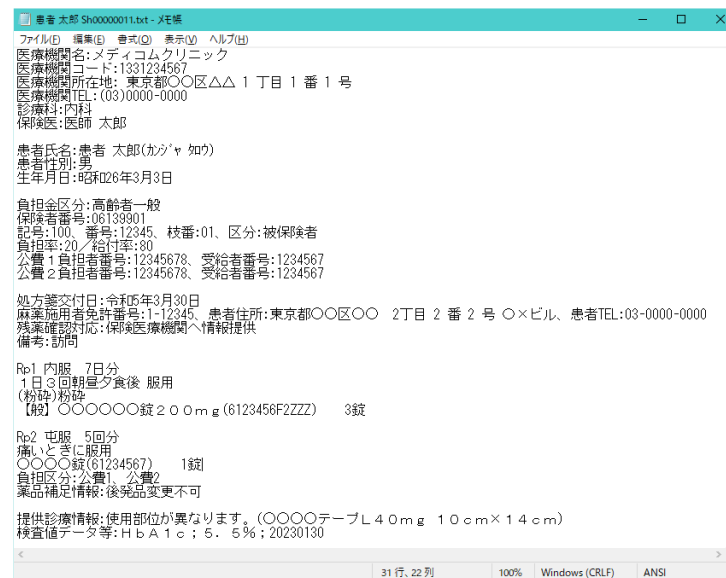
処方入力業務

マイナ保険証受付、2次元コード読み取り、引換番号と被保険者番号入力の3パターンいずれかの方法で処方データ取得ができる。

- ① マイナ保険証受付による処方データ取得
- ② 2次元コード読み取りによる処方データ取得
- ③ 引換番号と被保険者番号の入力による処方データ取得



処方内容控え(電子処方箋)の場合は調剤、監査のため電子処方箋テキストデータを印刷(右図)



資料提供元: ウィーメックス株式会社

調剤・監査業務 — 重複投薬等チェック —

処方入力後に重複投薬等チェックが実施される。調剤及び監査のため印刷。

重複投薬チェック

■チェック実施日：RYY.MM.DD
●アルメタ軟膏 0.1%(662640683) (調剤数量)1 (用法)適宜
【チェック結果】
成分重複あり
同一投与経路で成分が重複しています
アルクロメタゾンプロピオン酸エステル-外用
【該当薬剤】
アルメタ軟膏 0.1%(662640683) (調剤数量)1 (用法)適宜
調剤日：RYY.MM.DD
医療機関名称：○○○○病院

(好事例)

重複投薬チェック機能により重複を発見し疑義照会にて処方削除となった。

併用禁忌チェック

●プレドニン錠 5mg (612450118) (調剤数量)30 (用法)1日1回朝食後
【チェック結果】
併用禁忌あり
低ナトリウム血症が発現するおそれがある。
【該当薬剤】
ミニリンメルトOD錠 25 μ g (622688101) (調剤数量)14 (用法)1日1回就寝前
調剤日：RYY.MM.DD
医療機関名称：○○○○病院
薬局名称：○○薬局

該当なし

■チェック実施日：R5.1.19
チェック結果：重複投薬、併用禁忌なし

調剤・監査業務 — 処方医からの伝達事項 —

「処方医からの伝達事項」が追加されたため、処方医からの伝達事項がある場合は、必ず内容を確認して調剤を実施。

患者 花子(60)【担：薬剤師 太郎】									
処方入力									
Version XX.XX									
60	患者 花子	昭和60.01.01	38歳(0ヶ月)	女性	特記事項		頭書メモ		
06139901	社保						30%	薬剤師名	薬剤師 太郎
処方-RYY.MM.DD 調-RYY.MM.DD 通常 メディコム病院 メディコム 八郎(皮膚科) 社保									
◆処方-MM/DD メディコム 太郎(内科) 06139901 1 0 0 2 3 4 5 6									
01	調剤基本料					(基A)	102		
02	[内服薬]					(内)	24		
03	〇〇〇〇錠500mg			1錠					
04	分1 朝食後服用			5日分			20		
05	[内服薬]					(内)	24		
06	△△△△錠250mg			3錠					
07	分3 毎食後服用			5日分			3		
08	【コ】 処方医からの伝達事項(メディコム 太郎)(〇〇〇〇錠500mg)：△△の症状のため、薬を変更しています。								
◆処方-MM/DD メディコム 八郎(皮膚科) 06139901 1 0 0 2 3 4 5 6									
09	[外用薬]					(外)	10		
10	△△△△軟膏0.05%			10g					
11	1日1~2回患部に塗布			1調剤			19		
12	【コ】 処方医からの伝達事項(メディコム 八郎)(処方箋全体)：×××に注意してください。								
>>									

(好事例)
重複していたが、医師から処方の必要についてコメントがあり、処方意図が確認できた。

調剤・監査業務 — 印刷物 —

入力ミスや確認漏れ等のリスクヘッジの観点から印刷物が増えている。今後、システム改修等を通じて、安全かつ効率的な運用の確立が求められる。

下記の青字の印刷物が増える。

■ 処方内容控え(電子処方箋)を応需した場合の印刷物

処方内容 (控え)の コピー	電子処方 箋テキスト	重複投薬 等チェック 結果	調剤 指示書	監査 支援票	手帳 シール
----------------------	---------------	---------------------	-----------	-----------	-----------

■ 引換番号付き紙処方箋を応需した場合の印刷物

処方箋	重複投薬 等チェック 結果	調剤 指示書	監査 支援票	手帳 シール
-----	---------------------	-----------	-----------	-----------

調剤結果登録 ー 疑義照会 ー

疑義照会を行った場合はその内容をコメント入力することで、電子処方箋管理サービスに調剤結果とともに登録される。

患者 太郎(50)【担：薬剤師 太郎】

処方入力 Version XX.XX

50 患者 太郎 昭和50.01.01 47歳(11ヶ月) 男性 特記事項 頭書メモ

06139901 社保 30% 薬剤師名 薬剤師 太郎

処-RYY.MM.DD 調-RYY.MM.DD 通常 メディコム病院 メディコム 太郎(内科) 社保

◆処-MM/DD メディコム 太郎(内科) 06139901 1 0 0 1 1 2 3 4 5 01

01	調剤基本料	(基A)	102		
02	[内服薬]	(内)	24		
03	〇〇〇〇〇錠40mg	1錠			後
04	分1 朝食後服用	14日分	2		
05	【コ】 疑義照会;YYYY年MM月DD日 HH時MM分				調簿電
06	【コ】 疑義照会;〇〇病院 医師太郎				調簿電
07	【コ】 疑義照会;電話にて確認				調簿電
08	【コ】 疑義照会;〇〇〇〇〇錠40mg				調簿電
09	【コ】 疑義照会;用量が20mgから40mgに変更になったが問題ないか確認を行う。				調簿電
10	【コ】 疑義照会;降圧結果が思わしくないため、用量を変更したとのこと。40mgのまま調剤を行う。				調簿電
11	【コ】 疑義照会;担当 薬剤師太郎				調簿電

紙処方箋の備考欄に疑義照会内容を記載する業務に相当する。
電子薬歴への疑義照会内容の記載もこれまで通り必要となる。

調剤結果登録 — 医師への伝達事項 —

「医師への伝達事項」の登録機能が実装されたことで、患者さま一人ひとりに応じた、双方向の連携に活用できる。

50	患者 太郎	昭和50.01.01	47歳(11ヶ月)	男性	特記事項	頭書メモ
06139901	社保					30% 薬剤師名 薬剤師 太郎
処方-RYY.MM.DD 調-RYY.MM.DD 通常 メディコム病院 メディコム 太郎(内科) 社保						
◆処方-MM/DD メディコム 太郎(内科) 06139901 1 0 0 1 2 3 4 5 01						
01	調剤基本料				(基A)	102
02	[内服薬]				(内)	24
03	○○○○錠 20mg			3錠		
04	分3 毎食後服用			7日分		2
05	【コ】 医師への伝達事項(重要);錠剤の服用可能					簿電
>>						

医師に共有すべきことがある場合はコメントを入力。
調剤結果の「医師への伝達事項」として電子処方箋
管理サービスに送信され登録される。

調剤結果登録 —HPKI認証—

従来の紙処方箋、引換番号付き紙処方箋、処方内容の控え(電子処方箋)の3パターンのいずれの場合でも調剤結果の登録を行う。一括登録も可能。

電子処方箋管理サービス一括送信

担当者 薬剤師 太郎

	種別	患者番号	患者氏名	送信データ種別	形態	薬剤師	調剤日	医療機関	診療科	保険医
<input checked="" type="checkbox"/>	保留	70	患者 次郎	調剤結果登録	電子	薬剤師 太郎	RYY.MM.DD	〇〇病院	整形外科	医師 花子
<input checked="" type="checkbox"/>	保留	80	患者 三郎	調剤結果登録	紙番		RYY.MM.DD	〇〇医院	外科	医師 一郎
	保留			調剤結果変更			RYY.MM.DD			
<input checked="" type="checkbox"/>	保留	90	患者 六郎	調剤結果登録	紙		RYY.MM.DD	〇〇診療	内科	医師 三郎

- 処方内容控え(電子処方箋)の場合
HPKI認証(暗証番号入力)が必要



HPKI認証 (暗証番号入力)

HPKIカードを置いて、暗証番号 (PIN番号) を入力してください。
※誤った番号を入力した場合、再入力画面が表示されます。

課題と対応

運用開始当初こそシステムエラーがあったものの現在は安定的に稼働している。

■ システムエラーの具体例

- 処方情報が登録できない
- 重複投薬等チェックが機能しない
- 調剤結果登録ができない
- 電子署名ができない
- 一包化の処方を取り込めない
- 疑義照会コメントが登録できない

- 日本海総合病院様との日々の連携
 - WEMEX社様との定例会
 - モデル事業における定例会
- において、一つひとつ原因調査及び対応
を実行し、安定的な稼働を実現。

■ 業務上の課題

- 処方内容控え(電子処方箋)の場合
に原本の内容が確認できない。

電子処方箋テキスト情報の表示・出力
機能を搭載。

■ 今後の課題

- 重複投薬等チェックや疑義照会コメント等における電子薬歴との連動
- 印刷物の削減等、安全かつ効率的な運用の確立

本日お伝えしたいこと

1. モデル事業における取り組み

- 概要とモデル事業の経過
- 薬局業務における主な変更点

2. 薬局業界における見通し

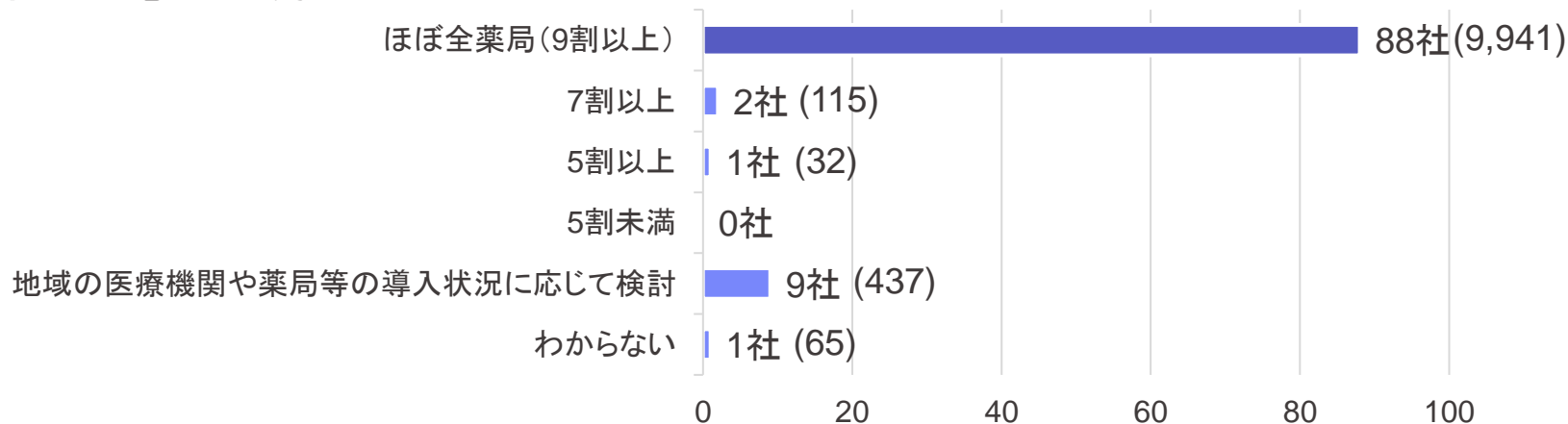
- 今後の計画
- 期待と要望

今後の計画

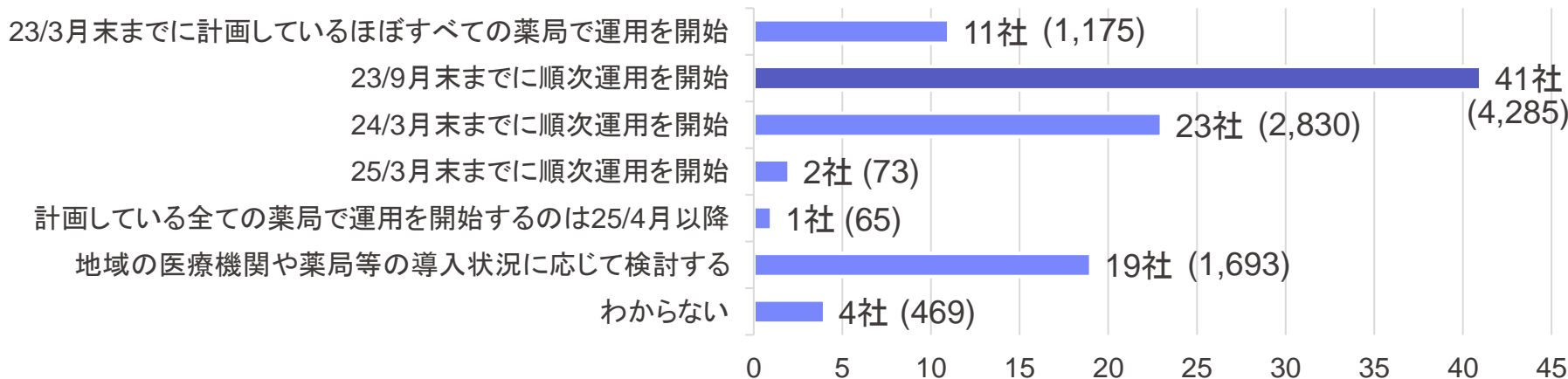
アイングループでは2023年9月末までに順次運用を開始する計画。薬局業界としても概ね2024年3月末までに順次運用を開始することが計画されている。

日本保険薬局協会による調査結果 N=101社(10,590薬局)

■ 将来的な電子処方箋の対応計画



■ 電子処方箋対応整備計画のスピード感



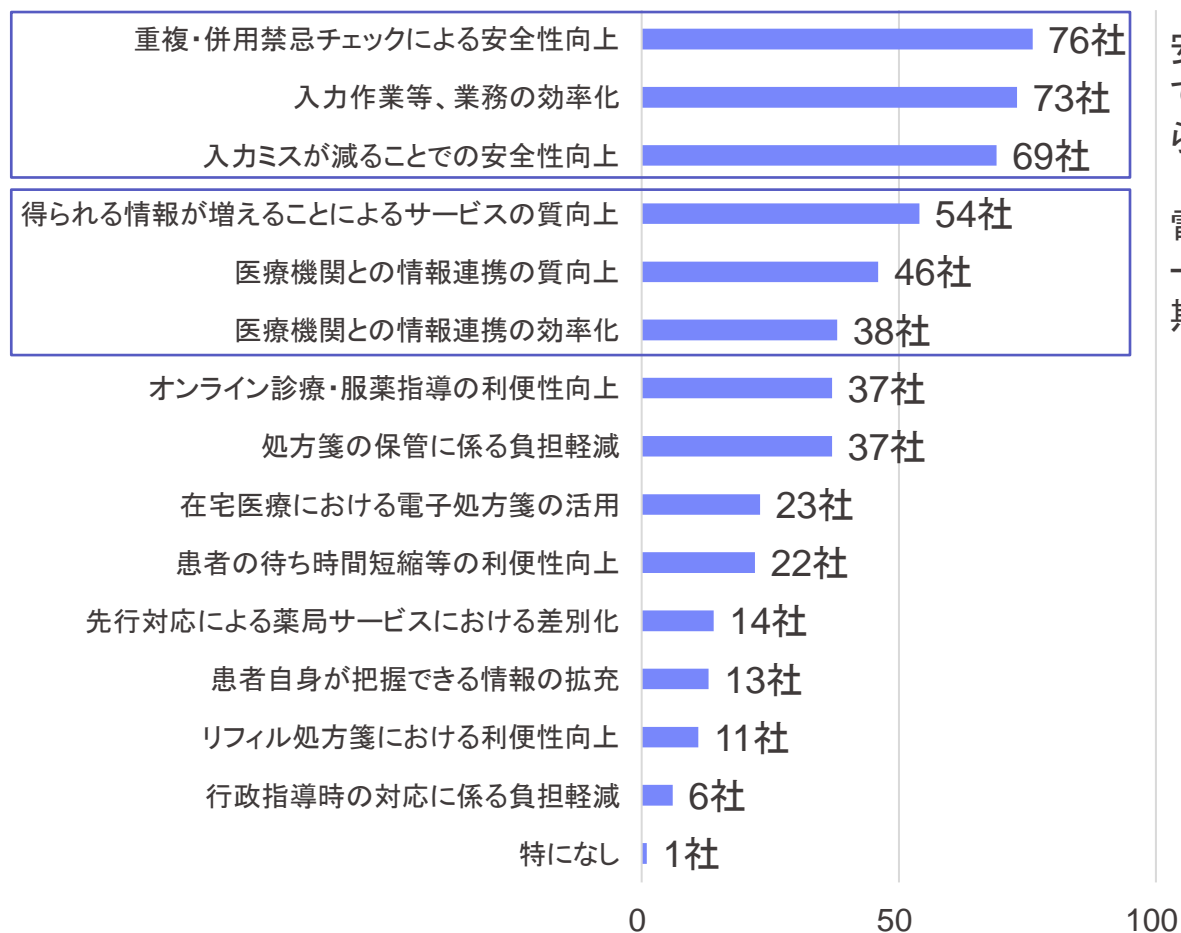
期待と要望

安全性向上、効率化、サービスの質向上と期待は大きい。一方で、過渡期はそのメリットを享受できないため、速やかな普及を求める声も上がっている。

日本保険薬局協会による調査結果 N=101社

問. オン資、及び電子処方箋に関して期待していること(最大5つまで選択可)

問. 要望等があれば教えてください。(フリーコメント)



安全性向上、効率化に期待する一方で、過渡期は業務が複雑化することから速やかな普及を求める声もあり。

電子処方箋対応範囲の拡充や、トレーニングレポートの登録機能の実装も期待されている。

最後に

電子処方箋の仕組みの整備は通過点。国民自身がより良質な医療やケアを受けられるように、今後も医療DX推進に対して着実に対応していく。

医療情報連携の仕組み導入

- オン資のネットワークが電子処方箋及び医療情報連携の基盤となる
- マイナ保険証活用による患者「同意」のもとで医療情報連携が推進される
- 23/4月よりオン資導入の原則義務化

Phase 1

電子処方箋に基づく情報連携

- 重複・併用禁忌チェック、普及すれば処方薬一元管理が可能
- 処方箋に基づく医療機関・薬局情報連携の仕組みとなる
- 25/3月末までに概ね全ての医療機関／薬局が電子処方箋導入(目標)

Phase 2

オンライン×電子処方箋

- オンライン診療・服薬指導の普及
- マイナカード機能のスマホ搭載
- リフィル×電子処方箋(次の開発フェーズ)

医療情報連携の更なる拡大

- 連携できる情報の拡大
- 電子カルテ情報の送受信

Phase 3



AIN GROUP